

森かれん、いつでも駆けつけます!

TEL075-366-6341 / mail:karen_mori_0211@yahoo.co.jp

- 上京区にお住まいの皆様、お困りごとがありましたらご相談下さい!
- 地域でのイベントなど、お手伝いできることは何でもやります!
- ご近所さんの茶話会など、お気軽におよび下さい!



後援会通信第3号



京都の新しい選択

森かれん

京都党 上京区支部長

翔鸞小、衣笠中、
朱雀高校卒業。

森かれん公式サイト
森かれん Facebookにて活動配信中!

<http://morikaren.com/>

カンパご協力へのお願い

活動資金が不足しています。 振込先名義 森かれん後援会代表森かれん
切手、文房具なども大歓迎です。 京都銀行西陣支店 普通5078800

サポーター大募集!!

■上京区でポスター掲示できる場所をご紹介ください■上京区に住んでおられる方をご紹介ください■ボランティアスタッフも募集中です。



好きな作家 辻仁成・近藤史恵
尊敬する人 両親
好きな言葉 向き不向きよりも前向き

- 1990 京都府立医大病院に生まれる 星の子スイミングスクールで水泳に熱中!!
- 2002 翔鸞小学校 卒業 吹奏楽(チューバ)を始め、音楽に没頭
中学2年生の時、生徒会長を務める
- 2005 衣笠中学校 卒業
- 2008 朱雀高校 卒業 吹奏楽と文化祭に全力で打ち込む。
社会問題への関心が強く、学業にも熟を入れる
- 同志社大学政策学部へ進学 政治、経済、法律を学ぶ傍ら、応援団へ。
身体と精神力が鍛えられました。
- 同志社大学応援団に入団 卒論発表会では、ゼミ代表に抜擢!
- 2012 (株)堀場製作所へ入社 半導体部門営業として全世界エリアを担当。
2年連続部門予算達成に寄与
- 2014 地域政党京都党上京区支部長就任 「京都をずっと暮らしやすい街にしたい、
何度も訪れたい街にしたい」との思いで一発発起。
市政に向けて上京区で挑戦中!!

平成生まれ、京都市政へ挑戦!

待っている間に合わない!

1990年に生まれた私は、幼いころから「不景気だ、悪いのは政治だ!」という嘆きの声を聞いて育ちました。しかし、経済や政治を「悪い」とただ言っているだけでは、何も変わりません。少しでも状況が良くなるよう行動しなければなりません。これまでの政治は問題を先送りしてきました。しかし、もう目をそらし続けることができないほど借金や課題が山積しているのが現状です。

それらの問題を解決するためには、これまで以上にさらにムダを減らし、構造的な悪循環を根っこから断ち切る必要があります。もう、一刻の猶予も許されません。そして、「今」の選択が「10年後の京都の命運」を分けることになるのです。だからこそ今、未来のために、私は全力で取り組みます。

森かれん

森かれん後援会事務所

〒602-0024京都市上京区上立売町8-9-2F TEL:075-366-6341 FAX:075-366-6342

マニフェスト大賞受賞(主催:マニフェスト大賞実行委員会/共催:早稲田大学マニフェスト研究所・毎日新聞社)地方議会部門で京都党のマニフェストが優秀賞をいただきました。

京都党の主張は全国で高く評価されています。問題は新興勢力ゆえの少数勢力だということ。頑張ります!

党メンバー

最高顧問
株式会社堀場製作所最高顧問 堀場雅夫

顧問
渡文株式会社 代表取締役 渡邊隆夫
元京都市副市長 高木壽一

政策顧問
同志社大学教授 村田晃嗣
同志社大学教授 風間規男

京都産業大学法学部教授 溝部英章

弁護士 小川顕彰

応援団長
マールブランシュ創業者 河内誠一

所属議員
村山祥栄 (代表/左京区)
佐々木隆吏 (中京区)
江村理紗 (右京区)
中島拓哉 (南区)

府・市候補予定者総勢15名!

議員定数削減

4年前に京都党が実施した直接請求がきっかけで2名削減が実現しました。上京区もその対象区であり、議員定数が5から4となります。しかし、当初提案した9名減(あと7名)に向け引き続き取り組みます!

海外視察の廃止

1人100万円もかけて行う議会の海外視察はあくまで個人の政務調査費または自費で行い、現在の海外視察は廃止すべきです。

人件費の抑制

「民間にできることは民間に」を合言葉にごみ収集事業や土木作業については100%民間へ委託させるなど、徹底した職員の削減を推し進め、高齢者雇用の受け皿として嘱託職員や民間委託を使いコスト削減を進めて参ります。

不正支出の徹底監視

これまで京都党が指摘した不正支出は数知れず。生活保護の不正受給や役所の不適正執行など、引き続き徹底的に行政を監視し、無駄を見逃しません。



京都は人口減少都市

「京都は世界一の観光地」「財政は黒字」...そう喧伝されること、その実態は必ずしもイコールではありません。地方では人口減少、財政危機によって急速に勢いを失いつつあります。政令指定都市の多くは人口増加傾向傾向にありますが、京都は政令指定都市の中でも数少ない人口減少都市なのです。

京都党政策目標

2015

住みにくいけど、住みたい街京都を造る。

政治家はよく「住みやすい街を造ります」と、提言します。もともと京都は住みやすい街ではありません。夏は暑いし冬は寒い。戦火を免れた街並みはどこよりも道路が狭い...けれど、それも含めて京都のよさにつながっています。

だからこそ、京都党のご提案は「京都は世界一住みやすいわけではないが、世界一住みたい街にする」なのです。

今月のテーマ 財政再建

とにかく危機感がない!? 財政再建策について特集!!

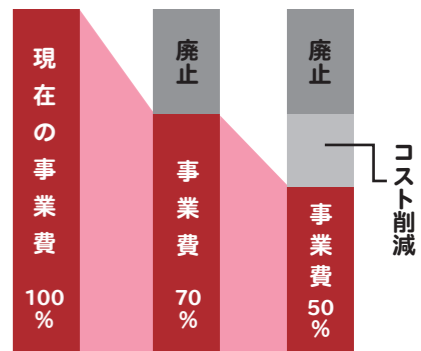
誰が未来に責任を持つのか?

貯金を使い果たし、借金返済積立金も取り崩し、いよいよ市有地の全庁的売却が始まります。にも関わらず、借金は増え続ける一方。市の借金の年間金利だけでも450億円あり、スカイツリーの総工費と同等の金額です。しかも、これらのしわ寄せはどんどん次の世代へ先送りされていきます。もう、こんなスパイラルからは脱却すべきです。「借金でモノを造る」という考え方は、かつて、人口が増え、経済成長がある時代においては良い方法でした。

しかし現在のように、大きな成長やインフレも起きず人口が減っていく時代に、昔のままの感覚で借金を作ることは、まさに無責任の極みです。

子どもたちにツケを先送りするな!

私達に子ども達の未来を奪う権利はありません。事業削減によるサービス低下以上に、ツケを先送りにする罪深さを反省すべきです。特別な事業を除いて、基本的に予算を残し、積み立て、その範囲内で事業を進める。これこそが未来の都市経営です。



目標は約50%の削減

現在の事業の総数から3割の事業を統廃合するなどして削減。さらに残る事業のコストを3割削減し、0.7×0.7で0.49、つまり現在の事業費から約50%の削減を進めて参ります。